

## 2. 建築図面等の作成例

平面図、求積図、求積表の記載例

【補助対象床面積及び各部位の施工面積算出における図面の作成例】

算出条件：組合せ番号 1

改修部位：天井、外壁、床、窓

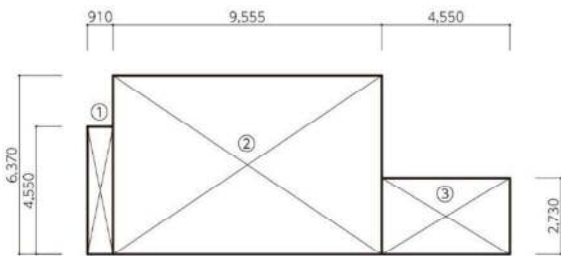
※天井・外壁・床の面積は壁芯寸法で求めること。

### ① 延べ床面積（改修後）を算出



平面図に「改修前」「改修後」を表記する。

1階延床面積求積図

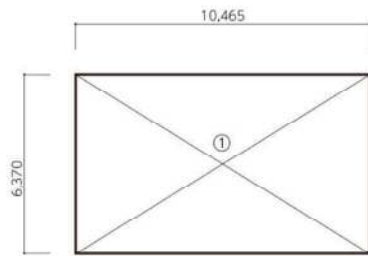


< 延床面積求積表 (1階) >

階	番号	計算式(mm)	床面積(m <sup>2</sup> )
1 階	①	910 × 4,550	4.1405
	②	9,555 × 6,370	60.86535
	③	4,550 × 2,730	12.4215
1 階合計			77.42795

番号は図面等と整合性をとる。

2階延床面積求積図



< 延床面積求積表 (2階) >

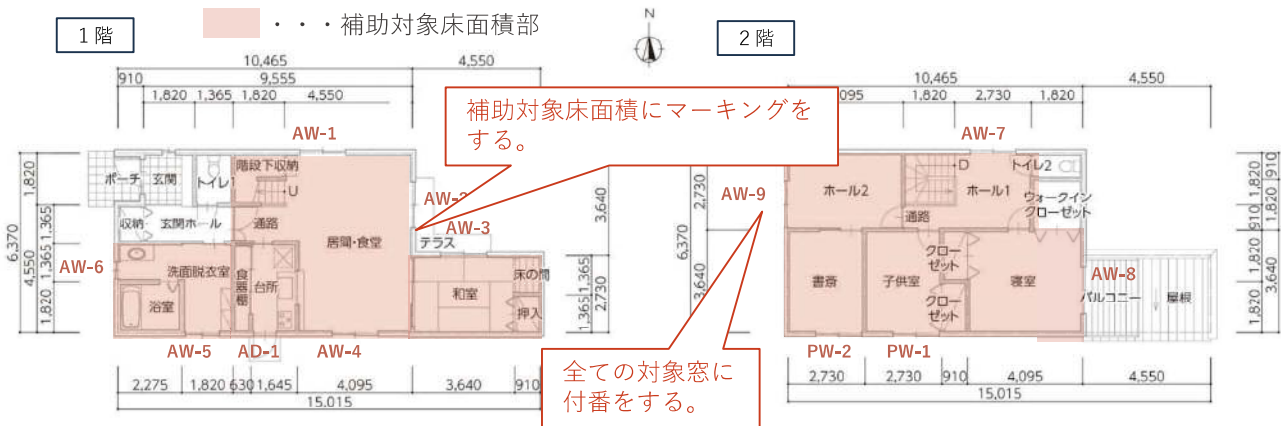
階	番号	計算式(mm)	床面積(m <sup>2</sup> )
2 階	①	10,465 × 6,370	66.66205
2 階合計			66.66205

1階、2階それぞれの床面積合計の小数第3位以下を切捨ててから、延べ床面積を算出する。

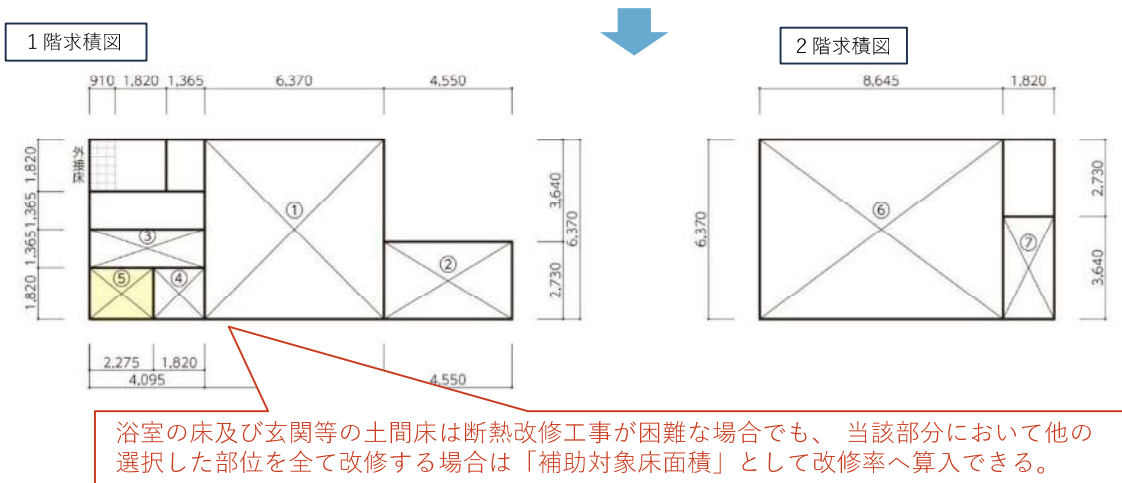
**1 階 2 階の合計延べ床面積：77.42+66.66 = 144.08m<sup>2</sup>**

## ②補助対象床面積と改修率を算出する

補助対象とする箇所に着色等のマーキングをする。また、窓を改修する場合は明細書と突合できる窓番号を付番する。



※公募要領P.14 エネルギー計算結果早見表で選択した部位全てを改修する居室等が補助対象床面積となります。



< 補助対象床面積求積表 (1階) >

階	番号	計算式(mm)	補助対象床面積(m <sup>2</sup> )
1階	①	6,370×6,370	40.5769
	②	4,550×2,730	12.4215
	③	4,095×1,365	5.589675
	④	1,820×1,820	3.3124
	⑤	2,275×1,820	4.1405
1階合計			66.040975

番号は図面等と整合性をとる。

< 補助対象床面積求積表 (2階) >

階	番号	計算式(mm)	補助対象床面積(m <sup>2</sup> )
2階	⑥	8,645×6,370	55.06865
	⑦	1,820×3,640	6.6248
2階合計			61.69345

1階、2階それぞれの補助対象床面積合計の小数点第3位以下を切捨ててから、補助対象床面積を算出する。

**1階2階の補助対象床面積合計：66.04+61.69 = 127.73m<sup>2</sup>**

$$\text{改修率} = \frac{127.73 \text{ m}^2 (\text{補助対象床面積合計})}{144.08 \text{ m}^2 (\text{延べ床面積})} \times 100 = 88.6 \rightarrow \mathbf{88\%}$$

※少数点第1位以下は切捨てして整数にする。また、公募要領のエネルギー計算結果早見表で示された改修率を上回るか確認する。